





# マルクス歴史理論研究の地平

今村仁司

「マルクス歴史理論研究」の刊行は、我が国におけるマルクス主義研究の歴史を振り返るべきである。戦前戦中、マルクス主義は我が国に導入され、戦後、マルクス主義は我が国の政治思想の中心をなした。その結果、我が国は社会主義国家として発展した。この歴史を振り返ることは、我が国の歴史を振り返ることである。この歴史を振り返ることは、我が国の歴史を振り返ることである。この歴史を振り返ることは、我が国の歴史を振り返ることである。

## 近年の研究概観

近年、我が国におけるマルクス歴史理論研究は、著しい発展を遂げた。その概観を、以下に述べる。

## 方法概念としての疎外論

望月清司の諸論文によせて

## 「現在」の歴史理論を

### 望月論文

望月清司の「疎外論」は、マルクス主義の歴史理論を、方法概念として捉えている。これは、従来のマルクス主義の歴史理論とは異なる。従来のマルクス主義の歴史理論は、物質的決定論に基づいていた。望月清司の「疎外論」は、人間の主体性を重視している。これは、人間の主体性を重視している。これは、人間の主体性を重視している。

### 市民社会概念の再検証

市民社会概念の再検証。市民社会とは、国家と個人との間に存在する社会である。市民社会は、個人の自由と権利を保障する役割を果たしている。市民社会は、個人の自由と権利を保障する役割を果たしている。市民社会は、個人の自由と権利を保障する役割を果たしている。

### 「ドクトリン」の

「ドクトリン」の。ドクトリンとは、特定の思想や理論を指す。ドクトリンは、特定の思想や理論を指す。ドクトリンは、特定の思想や理論を指す。

**新編集員募集**  
 ◆作文「私にとって高校時代とは何であったか」(40字詰め原稿用紙 3枚程度)  
 ◆面接  
 連絡は西部構内BOXへ  
**京都大学新聞社**  
 内線：2441 直通：(761) 2054

# 京都大学新聞

## 縮刷版

昭和史・京大とは何かを問う者に必読の書  
 大正14年創刊号より全紙を収録



発行所 京都市左京区吉田本町京大構内 京大新聞社  
 京都大学新聞縮刷版発行委員会 TEL 075-701-2054



京都大学新聞縮刷版発行委員会編

詳細については事務所へおたずねください。

# シンポジウム 価値論と歴史認識

平田 清明

## 第三回

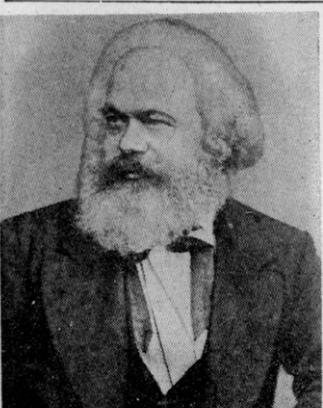
本シンポジウムは、戦後日本社会の発展と停滞の歴史を振り返り、その中で生じた価値観の衝突と変遷を、歴史認識の観点から考察しようとする。第一回は、戦後初期の社会主義的価値観の形成と、その後の自由主義的価値観の台頭を論じた。第二回は、戦後中期の社会主義的価値観の崩壊と、その後の自由主義的価値観の台頭を論じた。第三回は、戦後後期の社会主義的価値観の崩壊と、その後の自由主義的価値観の台頭を論じた。

# 報告

## III 日本資本主義の市民 社会的表象の成立

## 農村共同体の崩壊と 労働者の明確な登場

農村共同体の崩壊は、日本資本主義の市民社会的表象の成立に重要な役割を果たした。戦前までは、農村共同体が社会の基盤となっていたが、戦後の社会主義的価値観の台頭により、農村共同体は崩壊した。この崩壊は、労働者の明確な登場を促した。労働者は、戦後の社会主義的価値観を支持し、市民社会的表象の成立に貢献した。



Karl Marx

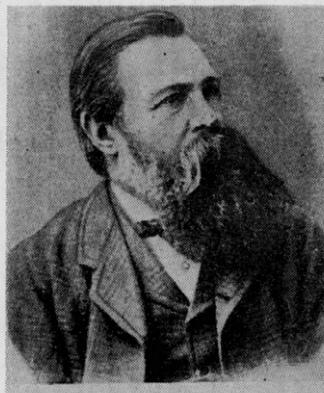
資本の「文明化作用」  
自他者の認識・組織を  
資本の「文明化作用」は、自他者の認識・組織を促進する。資本主義の発展に伴って、社会はより複雑化し、自他者の認識・組織が重要となる。資本主義は、自他者の認識・組織を促進し、社会の発展に貢献する。

## IV 日本資本主義の帝国主義化

日本資本主義の帝国主義化は、戦後の社会主義的価値観の台頭に起因する。戦後の社会主義的価値観は、帝国主義を批判し、社会主義的価値観を支持した。この批判は、日本資本主義の帝国主義化を促進した。日本資本主義は、帝国主義化を遂げ、戦後の社会主義的価値観を支持した。

## 労働過程の内容の変化 株式会社と管理労働

労働過程の内容の変化は、株式会社と管理労働の台頭に起因する。株式会社の台頭により、労働過程の内容は大きく変化した。株式会社は、管理労働を必要とし、労働過程の内容を大きく変化した。株式会社は、管理労働を必要とし、労働過程の内容を大きく変化した。



J. Engels

6月25日発行 六号室 創刊号  
環状路★和田ひろみ  
ピクニック★山内秀紀  
ブルー★江守 立男  
星の心★江守 立男  
男の胸のよら★浜田 棟人  
親流★41  
★馬橋 伸雄  
★鶴岡口哲尚  
★佐藤義和  
★池田浩士

懸賞小説  
応募要項  
◎応募要項  
◎締切り 九月十五日  
◎発表 十二月月上旬  
◎賞金 入選 五万円  
◎資格は問いません  
◎選考  
◎第一次、本紙編集部  
◎第二次 井上光晴氏  
◎高橋和巳氏

社告  
一五〇〇号記念企画  
懸賞論文  
テーマ コミュニズム  
◎応募要項  
◎枚数 五十枚程度(四百字詰)  
◎締切り 九月十五日  
◎発表 十二月月上旬  
◎賞金 入選 五万円  
◎資格は問いません  
◎選考 本紙編集部  
◎審査顧問 阪上 孝氏 池田浩士氏

京都書院  
3階 美術書 (絵画・工芸・デザイン)  
2階 専門書 (医学・経済・法律)  
1階 新刊書 小説全集雑誌  
営業時間 11AM-9PM  
さまざまな青春が語りだす本のギャラリー  
TEL (221) 1062 (代)

京都大学出版会  
北海道大学出版会  
序章【2号】  
▲発売中・300円  
文学  
1. 短編〈顔〉……奥野 路介  
2. ロマンの復活……稲垣 真美  
〈身構える変革の視点〉  
◇現代青年論……八木 俊樹  
◇革命的サンディカリズム試論……大塚 雅也  
◇女術孝……池田 浩士  
▲武装蜂起▲  
蜂起に関する覚え書……佐野 茂樹  
バルチザン闘争……陣野 章  
〈赤軍派〉から赤軍へ……八木 健彦  
ラズルーカ(訳)抄……工藤 正広